要請及び質問書

2022 年 10 月 28 日

小金井市教育委員長　**大熊雅士**　様

生活クラブ運動グループ
小金井地域協議会

自然環境を守るため、食の安全を守るため、消費者の知る権利を保障するため、小金井市は、小学校や障がい児介護福祉施設にて、ゲノム編集トマト苗を受け取らないよう通達してください。また、学校や保育園などの公給食には、ゲノム編集食材を使用しないでください。

２０２０年１２月、開発企業サナテックシード社により「ゲノム編集高ギャバトマト」の開発が厚生労働省と農林水産省に届けられ、表示・規制なしの流通が始まりました。２０２１年にかけて、販売会社であるパイオニアエコサイエンス㈱により「ゲノム編集高ギャバトマト」苗が一般の希望者４０００人に無償配布されました。

さらに同社は、ゲノム編集トマト「シシリアンルージュ　ハイギャバ」の苗を、２０２２年からは福祉施設に、２０２３年からは小学校に無償提供する計画を発表しています。

国は「ゲノム編集による遺伝子破壊は自然界で起きる変異と同等」とし、表示義務も課さない形での流通を認めています。しかし自然界では決して起きないオフターゲット（＝標的以外の遺伝子への影響)、アレルギーなど体への影響、生態系への影響など、未検証の重大な課題があります。

長期的な未然防止の視点、消費者の知る権利という点からも、ゲノム編集作物・食品が知らされない間に拡散していく事態は避けるべきです。同じく、十分な検証や国会での議論がなされないまま、市民や子どもたちに栽培させ一方的な知識を植え付けるのは避けるべきです。

無償提供が進めば、栽培によるゲノム編集作物が自然界に放たれ、子どもたちやそれを望まない市民までも、食べ物を選べなくなってしまいます。

小金井市の自然環境を守る上でも、市民が知る権利を行使して食べ物を選ぶためにも、市は、この件に関して丁寧に議論し、教育委員会、障害福祉担当課に対して、ゲノム編集苗を受け取らないように各施設に通達するように要請します。

また、学校や保育園などの公給食には、安全性に課題のあるゲノム編集トマトを使用しないことを求めます。

◆要請事項

1. 市は、福祉施設や小学校へのゲノム編集トマト「シシリアンルージュ　ハイギャバ」の苗無償配布は受け取らないように通達してください。
2. ゲノム編集作物は遺伝子組み換え作物であるという認識に立ち、市民や市内の事業所が正しく判断できるようにしてください。
3. 安全性が確立されていない食品から子どもたちを遠ざけるためにも、ゲノム編集苗を栽培させないようにしてください。
4. 学校や保育園などの公給食には、遺伝子組み換え作物と同様に、ゲノム編集食材を使用しないでください。

＜回答書＞
恐れ入りますが、貴自治体の対応をお聞かせいただければ幸いです。

私たちの要望の趣旨をご理解いただき、ゲノム編集生物の種苗等を、開発・販売企業等から受け取らないでいただけますでしょうか。 また、通達については、いかがでしょうか。

自治体名： **小金井市**
ご担当部署・ご担当者：
同連絡先：

●市の福祉施設・学校においてゲノム編集苗を、
☐ 受け取らない
☐ 受け取る
☐ 通達はする
☐ その他
（いずれの場合も、その選択の理由やコメントをお聞かせ下さい）

●公給食においてゲノム編集食材を、
☐ 使用しない
☐ 使用することもある
☐ その他
（いずれの場合も、その選択の理由やコメントをお聞かせ下さい）

※回答結果は生活クラブ WEB サイトにも公開いたします。

回答期限：2022 年 11 月 15 日（火）
回答書はファックスまたはメールで、小金井地域協議会事務局（小金井・生活者ネットワーク）までお送りください。
FAX： 042-387-1068
メール： koganei@seikatsusha.net